

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	25-2		
PDCA	主要事業名		J R半田駅前土地区画整理事業		部課名		建設部 市街地整備課			担当	大岩		
										内線	455		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地										予算見積書で活用	目標項目（予算計上時に作成）	
	全体事業期間： 平成 24 年度 ～ 令和16年度 全体事業費等： 8,364,669 千円												
	会計 J R半田駅前土地区画整理事業特別会計 歳出科目： 01.01.01.02.50												
	事業概要等	J R半田駅前地区において、J R武豊線の高架にあわせ土地区画整理事業を実施 事業概要： し、面整備と幹線道路等の整備による一体的な市街地を形成することで、住環境の向上と中心市街地の活性化に繋げる。											
		事業目的： J R武豊線の高架化にあわせて土地区画整理事業を実施し、面整備と幹線道路等の整備により一体的な市街地形成を図る。											
		事業内容： 住環境の向上及び中心市街地の活性化を図るため、建物の調査及び建物移転を実施するとともに、宅地造成及び道路整備等を行う。											
		問題点・課題等： 地権者との合意形成を図りながら、移転交渉及び区画整理を進める必要がある。											
	予算額	主要事業とする理由											
	968,234 千円	道路、駅前広場、公園等の都市基盤の整備や、都市機能の集積により、生活の利便性を向上させ、まちなか居住の推進及び賑わいと魅力ある中心市街地の再生を図るため。											
	財源内訳	得られる成果											
	市費 710,912 千円	一体的な市街地の形成や住環境の向上が図られるとともに、中心市街地の活性化につながる。											
	国費 247,322 千円	目標値や目指すべき状態											
県費 10,000 千円	令和2年度 令和3年度 令和4年度 単位												
その他 0 千円	建物移転率		実績値		20.8		50.6		—		%		
			目標値		26.0		61.0		85.7		%		
			実績値										
			目標値										
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果										主要施策の成果報告書で活用	評価項目（決算時に作成）
	1,121,519 千円 (うち繰越額490,568千円)	物件移転が完了した区域において、速やかに区画整理工事を実施できた。											
		成果指標											
	建物移転率				実績値		77.9		%				
					目標値		85.7		%				
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 地権者と移転交渉を行い、27件のうち21件の物件移転契約を締結するとともに、早期移転を目指し交渉を密に実施した。また、物件の移転と並行し、地区の南側を中心に宅地や道路施設整備などの区画整理工事を実施した。											
	A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	拡充推進 引き続き地権者との交渉を密に行っていくとともに、これまでに移転された方々が早期に土地利用を開始できるよう、建物移転が完了した部分から順次区画整理工事を実施する。また、駅前広場や公園、電線共同溝などの施設設計を進めていく。										
観点別評価		必要性		有効性				効率性					
		①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献		大きい		⑦コスト削減 余地		ない			
		②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地		ない		⑧受益者負担適正化余地		ない			
	③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無		ない								